



種足小だより

NO. 2 5月号
令和5年5月1日
在籍児童数137名

種足小校歌を作詞した詩人・宮澤章二のメッセージ ～その気持ちをカタチに～

校長 青木 久永

さわやかな風が吹きわたり、草木の緑が色濃くなる季節。5月2日は立春から数えて88日目。「夏も近づく八十八夜…」という文部省唱歌『茶摘み』で有名な八十八夜です。

新年度が始まって1か月。保護者・種足地区の皆様、子供たちの登下校の安心・安全見守り活動をはじめ、いつも温かいお力添えをいただき、誠にありがとうございます。児童137名は皆様に支えられ、ワクワク感あふれる学校で、毎日元気に楽しく頑張っています。1年生も給食の準備がだんだん上手になってきました。

先日、地域のある方から「朝、子供たちと通学路を歩いて、家に戻ると4000歩以上になるんですよ。歩くことで運動不足の解消になり、健康になれます。」というお声をいただきました。とても有り難いです。朝の見守り活動を義務感ではなく、健康づくりと前向きに捉えてくださり、私もその発想を見習いたいと思いました。

朝、それまで緊急用にスマホを持っていましたが、今は健康アプリを入れて歩数を計測しています。首から吊り下げ名札、ポケットにスマホ、右手に長いトング、左手に黄色い横断旗とゴミ袋が校長の朝の定番です。拾ったゴミからは様々な情報が得られます。施設の破損はないか。校庭の遊具も叩いたり揺すったりして点検です。樹木の根元やバックネットの支柱の腐食は重大事故につながります。元気に「行ってきます」と家を出た子供を、「ただいま」と無事に帰すためにも、毎朝のルーティンは欠かせません。子供たちが大好きな築山の雑草も伸びました。そうこうするうちに、スピーカーから種足小学校の『校歌』が流れます。これは私の着任後から始めました。担当は放送委員の児童です。校歌を聴くと、児童も教職員も「今日も一日が始まるぞ！」という気持ちに切り替わり、愛校心や郷土・種足への愛着が高まってきます。

校歌の作詞は宮澤章二(1919-2005)さん(以下、敬称略)。羽生市出身の宮澤章二は、県立不動岡高等学校の教諭時代に、疎開で加須市に住んでいた作曲家の下総皖一と出会ったことをきっかけに、詩人・作詞家として活動を開始します。「ジングルベル」の訳詞(走れソリよ風のように…)は、今でも多くの人に親しまれています。特に校歌は、埼玉県内を中心に300校以上の作詞を手がけています。校歌の作詞を依頼されると、宮澤は自らの足でその土地を歩いて回り、自然や文化、風や光を感じて詞を作り、その作風から「風と光の詩人」と称されています。校長室には、昭和39年秋、宮澤が自筆した校歌の歌詞を収めた額縁があります。「稲田をわたる朝風に」「開いてかおる梨の花」「ながれる水は星の川」…。種足の情景が目には浮かびます。

2011(平成23)年3月11日、宮澤章二の名前が全国に知られる出来事が起こります。東日本大震災です。民放各局は企業のコマーシャル放映を自粛し、代わって毎日流れていたのは、公共広告機構(ACジャパン)が制作した金子みすずをはじめ、数々のメッセージでした。中でも、私たちの心に染み入ったのが、次のフレーズではないでしょうか。(https://www.youtube.com/watch?v=fkEdeBFMEHMで動画配信中)

「 ころころ 」はだれにも見えないけれど 「 ころころづかい 」は見える

「 思い 」は見えないけれど 「 思いやり 」はだれにでも見える

この詩は、宮澤章二の詩集『行為の意味』からの抜粋です。テレビ映像では、電車内で妊婦に席を譲る女性を見かけ(でも自分は何もできない)、(今度こそは勇気を出して)自ら街でお年寄りの手を引く男子高校生の光景が描かれています。大震災に遭い、大きな悲しみを抱え、厳しい避難所生活を強いられている多くの人々への「思い」を、私たち一人一人が胸に刻むとともに、その「思い」をしっかりと「形(行動・行為)」に表すこと(その気持ちをカタチに。)が大切なのだと教えてくれます。とても重みがあります。これは、私たち日本人の本来のあるべき姿を思い起こさせてくれた有名なCMです。この詩には、まだ続きがあります。

あたたかいところが あたたかい行為になり やさしい思いが やさしい行為になるとき

「 ころころ 」も「 思い 」も 初めて美しく生きる —— それは 人が人として生きることだ

「あたたかいころころも やさしい思いも 行いによって初めて見える」。本校が学校経営方針の一つに位置付けている「人権教育の推進」にも、この詩は示唆を与えてくれます。人権教育では、①人権に関する正しい理解、②人権感覚、この二つが育まれて初めて「自他の人権を守る実践行動」に結び付きます。①は主に各教科等で身に付けられます。難しいのは、②の人権感覚をどう育成するかです。人々とのふれあいやコミュニケーションなど豊かな体験活動等を通して、人権感覚は育まれます。

地域の人材や教育施設、学校応援団等の教育資源(ソース)が充実していることは本校の強みです。さらに、「人権感覚育成プログラム(埼玉県教育委員会)」を活用し、様々なアクティビティ(疑似体験)を通して、計画的に人権感覚を育むことができます。本校は、「全学年でのべ14回以上」の活用を目標に、2学期の期末PTAでは、プログラムを活用した人権教育の授業を公開します。(昨年度はコロナにより中止)

5月8日からは新型コロナが季節性インフルエンザと同じ「5類」に引き下げられ、規制が一層緩和されます。まもなく、5月27日(土)の運動会に向けた取組も始まります。当日は人数制限を設けない予定です。たくさんの家族や地域の皆様には是非とも御来校いただき、子供たちへの御声援をお願いします。

今年度は、23名の1年生が入学してきました。通学班登校や教室での様子を見てみると、少しずつ学校生活に慣れてきたと感じます。上級生がいつでも優しく1年生を見守っている様子も見られ、頼もしい限りです。

4月20日(木)には、1年生が安全に登校できるように交通安全教室を行いました。

4/20(木)交通安全教室



1年生と幼稚園の子供たちが安全な道路横断の方法を学習しました。日頃から見守りの御協力をいただいているスクールガードリーダーの林さんとふれあい推進長の瀬々さんにも協力いただきました。道路を横断する際は、「右・左・右」を見て安全確認し、しっかり手を上げて横断できました。

安全な登下校のためには、家庭、地域の皆様の見守りが必要です。引き続き御協力のほどよろしくお願いいたします。



【お願い】

毎朝、児童の安全な登下校のために見守りをさせていただきます。通学路の危険箇所等がありましたら、学校(73-0199)までお知らせください。市と連携し、対応を検討してまいります。

5月の主な行事予定

日	曜	行 事 等
1	月	職員会議
2	火	全5時間授業 児童引渡し訓練 14:30
3	水	憲法記念日
4	木	みどりの日
5	金	こどもの日
6	土	
7	日	
8	月	委員会活動 教育相談日 給食費等口座引落し
9	火	
10	水	尿検査(1次) 歯科健診
11	木	研修
12	金	
13	土	
14	日	
15	月	クラブ活動、給食等口座引落とし2回目
16	火	
17	水	尿検査(1次)予備日 心臓検診1年 埼玉県学力・学習状況調査
18	木	運動係打合せ(5,6年)1~4年5時間授業
19	金	ふれあいデー
20	土	
21	日	
22	月	
23	火	運動係打合せ(5,6年)1~4年5時間授業
24	水	スクールカウンセラー来校 PM
25	木	研修
26	金	運動会前日準備、第2回PTA役員会
27	土	運動会
28	日	運動会予備日①
29	月	振替休業日
30	火	運動会予備日②
31	水	色覚検査(希望者のみ)

種足小学校の学校生活の様子を ホームページに掲載しています

子供たちの生活の様子を「種足小の学校生活の様子」に掲載しています。是非、御覧ください。



「埼玉県学力・学習状況調査」

対象学年…4~6年 教科…国・算・質問紙

17日(水)に実施します。前学年までの復習問題が中心ですが、今年度からタブレットを活用した形式での実施となります。

事前にタブレットを持ち帰り、家庭でも取り組める課題を出します。これまでに学習したことを復習しておくよう家庭での声掛けをお願いします。

6月の主な行事

- 1日(木)、2日(金)、6日(火) 表札訪問
- 5日(月) 新体力テストweek(9日まで)
- 7日(水) 4年社会科見学
- 9日(金) 3年社会科見学
- 10日(土) 資源回収 11日(日):予備日
- 12日(月) 校内硬筆競書会
- 14日(水) 学校応援団会議 硬筆展公開16日(金)まで
- 16日(金) フッ素塗布1,2年
- 21日(水) 6年社会科見学
- 23日(金) 第1回学校評議員会
- 28日(水) 5時間授業 学習参観日
5年臨海学校説明会
- 30日(金) 4年自転車運転免許講習

※予定変更等は、メール及び種足小学校ホームページでお知らせします。